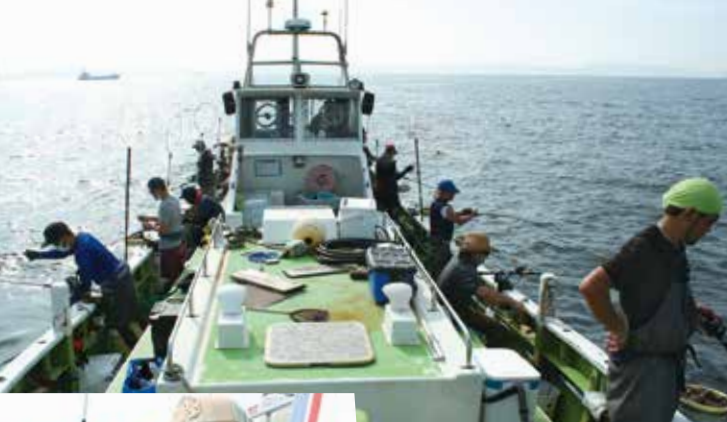


★当日はピシ
アジらしい良
型が目立った



▲釣り場は観音崎沖40~50メートルダチ
◀アタリが遠くなくても粘り強くコマセをまき
続けることが肝心



▲大きなアジはタモで確実に取り込みたい
◀釣りがたてのアジはもちろんおいしいが、内臓
を抜いて冷蔵庫で一晩かせるとうま味が増す



▲35センチ級が頻繁に上がった
▶食いが立つとタナに合わせた途端にアタリがくる



▲付けエサはアカタンが配られる。アオイソメ
は受付で販売
◀タナは底から2~3メートル



好調続く東京湾のアジ 良型主体で引き味満点

撮影●平林 潔



抜群の安定度で釣り人の期待に応えてくれる東京湾のアジ。周年アジ専門で出船する三浦半島浦賀港の前田丸はオモリ130号を使うピシアジスタイルで、目下は観音崎沖の水深40~50メートルを中心に狙い、30~35センチ級の中大型主体に良日はトップ60~80尾前後という好模様。
船長の指示ダナさえ守っていれば、だれでも簡単にキュキュンと小気味いいアジの引きを楽しめるはずだ。
(詳細は52ページ参照)



▲残暑も陽射しが強い日が多いから日焼け対策は万全に
▶夕食は極上の刺身やフライが待っている



●三浦半島浦賀港・前田丸
前田 悦男船長